

燕市産トマトを小中学校の子どもたちへ

－ 燕地区園芸協会が「つばめトマト」を学校給食へ寄附 －

県内有数のトマト産地である燕市で、トマトの本格的な出荷シーズンを迎えたことと、「つばめトマト」として出荷箱をリニューアルしたことを報告するため、燕地区園芸協会（会長：江村 正樹）の代表が5月20日（月）に市長を表敬訪問します。

当日は、小中学校の子どもたちに学校給食で地元産のトマトを味わってもらうため、完熟トマト40箱の寄附目録を贈呈いただきます。

【市長への表敬訪問】

- 1.日 時：5月20日（月）午前11時30分～
- 2.会 場：燕市長室
- 3.訪 問 者：燕地区園芸協会 会長 他2名
- 4.内 容：トマトの寄附目録を贈呈



【トマトの寄附について】

- 1.内 容：「トマト（桃太郎）」40箱（約160kg）

※桃太郎は、ふっくらと丸い形をした大玉トマトの代表品種で、甘みと程よい酸味、しっかりした果肉が特徴です。燕市は県内有数のトマト産地で、その多くを桃太郎が占めています。

- 2.給食提供日：6月14日（金）東部学校給食センター受配校（11校）
6月21日（金）西部学校給食センター受配校（9校）
（いずれも同日の給食に「カットトマト」として提供されます）



▲カットトマトで給食に提供します ▲新しい「つばめトマト」のパッケージ

※取材を行う場合は事前に下記連絡先にご相談をお願いします。

本件についてのお問い合わせ先
燕市 産業振興部 農政課：小林、笹川
電話：0256-77-8242（直通）